

平成2年度関西支所研究課題一覧表

関西地域研究推進目標による研究課題

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
X V. 風致 林及び都市近 郊林の育成・ 管理技術の高 度化 (有光一登)	<p>1. 都市近郊林の造成・管理技術の向上</p> <p>(1) 都市林の地力増進技術の改善</p> <p>① 根圈土壤の改良</p> <p>a 根圈土壤の改良</p> <p>(2) 都市の環境下における病虫害発生機 構の解明とその防除法の確立</p> <p>① 病害発生情報の収集と発生動向の 解析</p> <p>a 病害発生情報の収集と発生動向 の解析</p> <p>③ 突発性害虫の生態</p> <p>a 突発性害虫の生態</p> <p>⑤ 吉野ほか有名サクラ植栽地におけ る退廃の病因解明と防除</p> <p>a 吉野ほか有名サクラ植栽地にお ける退廃の病因解明と防除</p> <p>(3) 都市近郊林の林相管理技術の向上</p> <p>① アカマツ・落葉広葉樹林の取扱い と林相推移</p> <p>a アカマツ・落葉広葉樹林の取扱 いと林相推移</p> <p>② 林内環境下における更新稚樹の成 長過程の解明</p> <p>a ヒノキ天然更新稚樹の成立過程 の解明</p> <p>b 樹下植栽木の成長過程の解明</p> <p>⑤ 大阪営林局管内における複層林の 収穫予測法の開発</p> <p>a 大阪営林局管内における複層林 の収穫予測法の開発</p>	<p>60~2</p> <p>60~5</p> <p>60~5</p> <p>51~2</p> <p>63~2</p> <p>60~2</p> <p>63~2</p> <p>61~2</p>	<p>土 壤</p> <p>樹 病</p> <p>昆 虫</p> <p>樹 病</p> <p>造 林</p> <p>造 林</p> <p>造 林</p> <p>経 営</p>	<p>滝沢 幸雄 吉岡 二郎</p> <p>鳥居 厚志 伊藤進一郎</p> <p>伊藤進一郎</p> <p>細田 隆治</p> <p>山田 利博</p> <p>陶山 正憲</p> <p>加茂皓一</p> <p>家原 敏郎</p>

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	⑥ 関西地方における樹木衰退の実態とその立地要因 a 関西地方における樹木衰退の実態とその立地要因 (4) 竹林管理技術の確立 ① 竹林の生産力と土壤条件の解明 a 竹林生産のための土壤条件の解明 ② 竹林の取扱いと再生産の関係解明 a 竹林の取扱いと再生産の関係解明 ④ 竹林・竹材害虫の生態とその防除法の確立 a 竹林・竹材害虫の生態とその防除法の確立	62~3	造林	清野嘉之 陶山正憲
	2. 都市近郊林の防災的管理技術の向上 (1) 森林の土保全機能の解明と治山工法の改善 ① 根系と A <sub>0</sub> 層被覆による土砂生産の軽減効果 a 根系と A <sub>0</sub> 層被覆による土砂生産の軽減効果 b 旧玉野試験地における森林の成立が斜面安定に及ぼす影響の実態解析 ④ 山火事跡地の植生回復 a 山火事跡地の植生回復 ⑤ 樹種別の耐火性 a 樹種別の耐火性	62~2 63~2 63~6	土壤 造林 昆蟲	西田豊昭 井鷺裕司 五十嵐正俊 陶山正憲 服部重昭
	(2) 温暖少雨地帯における森林の水保全機能の評価手法の開発	61~2	防災	小林忠一 服部重昭

平成2年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	① 水保全機能の評価モデルの開発 a 水保全機能の評価モデルの開発 ② 土壌透水性に与える根系の影響の実験的検討 a 土壌透水性に与える根系の影響の実験的検討 ③ 林内の地面蒸発量推定モデルの開発 a 林内の地面蒸発量推定モデルの開発 ⑤ 温暖少雨地帯における林況変化が流出に及ぼす影響 a 温暖少雨地帯における林況変化が流出に及ぼす影響 ⑥ 寡雨乾燥地域における土壌構造と水移動及び保水メカニズムの解明 a 寡雨乾燥地域における土壌構造と水移動及び保水メカニズムの解明 b 寡雨乾燥地域の森林における水循環過程の解明	元～5 2～5 元～5 60～9 63～3 63～3	防災 防災 防災 防災 土壌 防災	服部重昭 玉井幸治 玉井幸治 服部重昭 鳥居厚志 服部重昭
	3. 風致林の機能解明と管理技術の向上 (1) 風致林の機能評価と育成・管理技術の向上 ① 風致機能の計量的評価法 a 風致機能の計量的評価法 c 天然林における生物集団情報の処理技術の開発 d 孤立化した広葉樹林の遷移過程における動物相の生態的地位 f 国有林データベースに関する研究			陶山正憲 天野正博 野田巖 天野正博 五十嵐正俊 天野正博

森林総合研究所関西支所年報第32号 平成2年度

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
XVI. 関西地域における森林造成技術と経営管理方式の確立 (有光一登)	g 地球規模での気候変動による木材生産量の変化 ③ 針広混交林誘導試験 a 針広混交林誘導試験	2~7 63~2	風致林 造林	天野正博 井鷺裕司
	1. 畿陽アカマツ林帯における森林造成技術の確立 (1) 立地特性の解明と林地利用区分 ① 林地土壤の母材特性の把握 a 林地土壤の母材の堆積特性の把握 ② 林地土壤の化学特性の解明 a 林地土壤の化学特性の解明 b 低山帶の未熟土壤の特性解明 ③ 林地土壤の水分環境の解明 a ヒノキ造林木の成長を抑制する土壤条件の解析 (2) 地力維持増進技術の向上 ① 林地肥培技術の改善 a 林地肥培技術の改善 (3) 立地条件別育成管理技術の向上 ① 落葉広葉樹林の樹種別生育特性の解明 a 落葉広葉樹林の樹種別生育特性の解明 ② 低位生産林地における針葉樹生産機構の解明 a 低位生産林地における針葉樹生産機構の解明 (4) 病虫獣害の防除法の確立	元~5 60~2 元~3 元~5 元~5 元~2 元~5	土壌 土壌 土壌 土壌 造林 吉岡二郎 鳥居厚志 西田豊昭 西田豊昭 吉岡二郎 吉岡二郎 西田豊昭 陶山正憲 加茂皓一 清野嘉之 五十嵐正俊	陶山正憲 吉岡二郎 鳥居厚志 西田豊昭 西田豊昭 吉岡二郎 吉岡二郎 西田豊昭 陶山正憲 五十嵐正俊

平成2年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	① ヒノキ主要病害の発生生態の解明と被害防止技術の開発 a ヒノキ樹脂洞枯病の発生生態の解明 b 病害発生情報の収集と解析 c ヒノキ漏脂病の被害実態の解明と発生環境の解析	60~5 元~9 2~3	樹病 樹病	山田利博 山田利博 伊藤進一郎
	② 主要病害の発病機構と抵抗性機構の解明 a 主要病害の発病機構と抵抗性機構の解明	元~5	樹病	黒田慶子
	③ 主要害虫の被害防止技術の開発 a 主要害虫の被害防止技術の開発 b 害虫情報の収集と解析	元~2 元~9	昆蟲 昆蟲	五十嵐正俊 伊藤賢介
	④ ノウサギの被害防止技術の開発 a ノウサギの被害防止技術の開発	元~6	昆蟲	山田文雄
	⑤ 野ネズミの被害防止技術の開発 a 野ネズミの被害防止技術の開発	元~6	昆蟲	北原英治
	⑥ ニホンジカの個体群変動機構と個体群管理技術 a ニホンジカの個体群変動機構と個体群管理技術	元~8	昆蟲	小泉透
	⑦ 松くい虫個体群動態とマツ枯損の疫学的解明 b マツノマダラカミキリ寄生性糸状菌の新利用法の開発 c マツノマダラカミキリ個体群動態とマツ枯損の疫学的解明	63~ 元~3	昆蟲	五十嵐正俊 五十嵐正俊
(5)	施業技術の体系化と経営的評価 ① 林分成長の解析と収穫予測 a 林分成長の解析と収穫予測	元~6	経営	黒川泰亨 家原敏郎

森林総合研究所関西支所年報第32号 平成2年度

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	③ 育林投資の採算性評価手法の開発 a 育林投資の採算性評価手法の開発 b 長伐期化に伴う育林経営の変動態様の解明と経営的評価	元～5 2～3	経営 経営	黒川泰亭 黒川泰亭
	2. 良質材生産技術の高度化と経営管理技術方式の確立 (1) 林業技術の地域特性の解明 ③ 保育方法の違いと量的質的成长との関係解明 a 保育方法の違いと量的質的成长との関係解明	元～5	造林	滝沢幸雄 陶山正憲 加茂皓一
	④ 直径分布の推移と林分構造の関係解明 a 直径分布の推移と林分構造の関係解明 b 数理モデルによる関西地域の森林成長特性の解明	60～3 2	経営 経営	家原敏郎 家原敏郎
	⑦ 人工造林地に更新した有用広葉樹の育成技術 a 人工造林地に更新した有用広葉樹の育成技術 b ミズメ個体群の更新機構と集団の成立条件	63～2 元～4	造林 造林 土壌	清野嘉之 清野嘉之 伊藤進一郎
	(2) 材質劣化防止技術の確立 ① 材質劣化に関与する病害の発生機構の解明 a 材質劣化に関与する病害の発生機構の解明	元～5	樹病	伊藤進一郎
	③ スギカミキリなど穿孔性害虫の個体群密度と被害発生条件 c 個体群変動要因の解明 d 個体群変動モデルの検討	元～3 2～4	昆蟲 昆蟲	伊藤賢介 伊藤賢介

平成2年度関西支所研究課題一覧表

研究問題	研究課題	研究期間	担当研究室	課題責任者
	⑤ 材質劣化に関与する獣害の究明 a 材質劣化に関与する獣害の究明 b 獣害発生情報の収集と解析 c 大型野生動物の生息環境の解析 と被害発生機構の解明	63~5 元~ 2~3	昆 虫 昆 虫 昆 虫	山田文雄 北原英治 北原英治
	(3) 経営管理方式の確立			黒川泰亨
	② 林業経営管理手法の開発 a 林業経営管理手法の開発	60~3	経 営	黒川泰亨
	④ 地域林業組織化方式の確立 a 地域林業組織化方式の確立 b 経済環境の変化に対応した木材 価格の変動予測モデル	60~3 62~2	経 営 風致林	黒川泰亨 天野正博